

十一月十三日（水）

「真剣に叱られる」叱られる経験

これまで皆さんは、家庭や学校生活の中で、叱られる場面はあったと思います。叱られるより叱られないことを誰しも好むと思います。しかし、叱られることで自分の行動の足りない面に気付き、自分の生き方を振り返る貴重な機会になるということが、自分自身の経験でわかってきました。「マアマアのウヤムヤに過ぎ、叱りもしなければ叱られもしないと、どうなるのでしょうか。ものの見方考え方が甘くなり、人間としての弱さやもろさが生まれてくる」と思います。自分がこれまで叱られたことを振り返ってみて、どう感じていくのか。家族や先生たちは、「人の生き方として真剣に叱る、また真剣に叱られるということは、その人に早く自立してほしい・人としての生き方を本当にわかってほしいという願いをもって、愛情を込めて叱っている」それに気付いてください。